

# 保育原理（3回目）

2024.4.22.

担当：佐々木和

# <環境による保育>

## 1.保育の環境の種類

- 物的環境
- 人的環境
- 自然や社会の事象

\* 2014(H26)年 日本小児科医会 「スマホに子守りをさせないで！」

# <環境による保育>

## 1.環境構成の留意点

テキストP28～

- ①子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し、様々な経験を積んでいくことが出来るよう配慮すること。
- ②子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育所の設備や環境を整え、保育所の保健的環境や安全の確保などに努めること。
- ③保育室は、温かな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるよう配慮すること。
- ④子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境を整えること。

\* 2. 環境構成における保育者の留意点

①子どもの興味・関心・欲求に即応したものとなり、子どもが主体的にかかわることができるように整えること。

\* ②保育の場の保健的環境への配慮や、安全の確保に努めること。

\* ③子どもが長時間生活することに配慮し、生活の流れやリズムに応じた環境を構成すること。

\* ④人との関係を育むことができる環境が必要である。

\* 3. 環境としての保育者

# <発達に応じた保育>

## 2.発達に応じた保育

- 乳児
- 1歳以上3歳未満児
- 3歳以上児
  
- 障がいのある子どもの保育

# <保育の基本>

## 1.保育の基本

- (1)家庭や地域と連携を図り、保護者の協力の下で家庭保育の補完を行う
- (2)子どもたちが健康、安全で情緒の安定した生活ができるような保育環境を用意する
- (3)子どもたちが自己を十分に発揮しながら活動できるように、個々に応じて援助する

# <保育の過程とは>

## 1.保育の過程

どのように見通しを持ちながら、個々の子どもに応じて保育実践を展開していくのか

- (1)子どもの実態を理解する
- (2)指導計画を作成する
- (3)適切な環境を構成する
- (4)個々に適切な援助を行う
- (5)保育を反省・評価する

# <子どもの健康と安全>①

## 1.子どもの健康と安全

登園時（視診、保護者からの情報）

午睡時（突然死（SIDS：乳幼児突然死症候群）、顔色、呼吸状態、発汗他

預かり保育（早朝、夕方～夜）時 保育者同士の連絡、保護者への伝達

個々の特性（アトピー性皮膚炎,アレルギー（劇症型）,エピペン、救急対応）

看護師、嘱託医、専門医との連携他（チームワーク）



# <子どもの健康と安全>②

## 2. 安全保育

避難訓練（月1回実施）

・・・避難（火事、地震、不審者、引き渡し訓練他）

環境整備、安全点検、事故防止マニュアル（インシデントレポート）

## 3. 食育

アレルギー（劇症型）、エピペン、救急対応

# <保育士の専門性>

- ・ 保育士の役割

- ① こどもや場の理解者としての保育士の役割
- ② こどもと共同作業、仲間としての保育士の役割
- ③ 生活や遊びのモデルとしての保育者の役割
- ④ 物や素材、言葉による援助者としての保育士の役割
  - \* 保育の形態（環境構成、計画立案）

- ・ 保育士の専門性

一人一人の倫理観、人間性、職務及び責任の理解と自覚、  
保育士、看護師、調理員、栄養士等、専門者の集まりでのチームワーク  
資質向上に向けた職員研修

# <遊び>①

1. 遊びとは？ テキスト p75

「幼児期にふさわしい生活の展開イメージ図」

「バーテンの分類」

「身体運動的発達」 「知的発達」 「社会性の発達」 総合的な保育

「個と集団」への配慮 一人一人の特性に応じた保育、集団は育てるもの  
一人一人の子どもが、自分らしいやり方で友だちとの関わりを見つけ、  
広げ、育っていく様子を、保育者は大切に見守りながら、集団を育てて  
いかなければならない。

# <遊び>②

## 1. 遊びを通して、何が育つのか

- (1) 情動的なものに焦点をあてて 人への基本的信頼、愛情、楽しさ、充実感
- (2) 身体的なものに焦点をあてて 運動能力、技術、直接体験、
- (3) 知的な育ちに焦点をあてて 感性、イメージ、想像力、創造力
- (4) 技術・技能的な育ちに焦点をあてて 道具の使い方、手先の操作
- (5) 社会性の育ちに焦点をあてて 物の貸し借り、人の意見を聞く、譲り合い、思いやり
- (6) 感性の育ちに焦点をあてて 体験と感動、気持ち、特性・知識の獲得

# <遊び>③

## 1. 具体的な援助

### (1)見守る

### (2)環境を構成する

- ①ものを出す
- ②コーナーを設定しておく

### (3)具体的ななかかわりを持つ

- ①言葉をかける
- ②モデルを示す
- ③要求にこたえる
- ④指導する、教える

# 本日の課題

①課題「気になっていること」 800字以内

※切4月30日(火) 15時

②一番上の行に「課題名」 学籍番号 氏名

③レポートの書き方

- ・段落の付け方（1文字空ける（1マス空ける））句読点（、。）
- ・字数 800字以内(720字～800字)
- ・文章体（～だ、～である）  
\*口語体（です、ます）では書かない
- ・「～たり、～たりして」
- ・保育ならでの表現方法  
子ども（漢字は使わない） / 一人一人 / 言葉がけ（声かけ×）